

回 答 書

ご提案等の内容

主題：学校からイジメをなくす方法

内容：小、中学校の義務教育に「命のあり方の事実教育」を導入する。それによってイジメ問題はなくなり、犯罪は激減します。20年もたてば、日本はすばらしい国になります。

人には誰でも親がいます。その親にもまた親がいます。この事実を積み重ねていくと、32代前の親は84億人を超えます。つまり、人類だけでなく、すべての生命は皆ひとつにつながっているということです。この事実を教えることで、子供達に思いやりの心が生まれます。まわりの人や生命に対する愛情が生まれます。そうするとまず、みんな一つにつながっている身内なんだということになって、学校におけるイジメ問題がなくなります。そしてこの事実教育を受けた子供達が成人して、世の中の指導的立場に立った時、犯罪が激減します。そして結婚して親になった時、親と子の断絶もなくなります。日本は素晴らしい国に変わります。

以上のように簡単で実効性のある、この「いのちのあり方の事実教育」をぜひ義務教育に取り入れていただきたいと思います。

(60代 男性)

ご提案等に対する回答

町長回答

ご提言ありがとうございます。いじめ問題は学校教育から、社会教育全体として対策を講じていくことが求められております。人としてのつながりや思いやり、やってはいけないこと、これらは日常的な面から、家庭や社会から学ぶものが多いと思います。全国の教育的な模範書としてお勧めしたいのは「会津の仕の掟」ならぬことはならぬものです。という格言です。学校の教育的指導の徹底や、いたずらといじめの違い、ケンカとはどうあるべきか、人の痛さを知る方法とは、など基本的なことから始めることも大切ではないかと思います。機会あるごとにいじめ対策について取り組んでいきます。

(平成29年1月27日公表)